
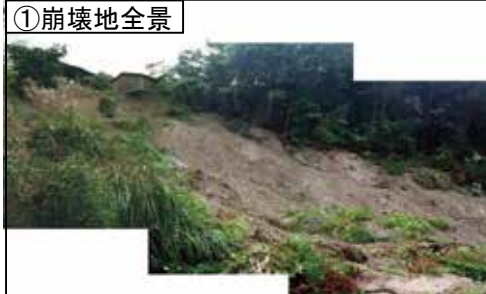
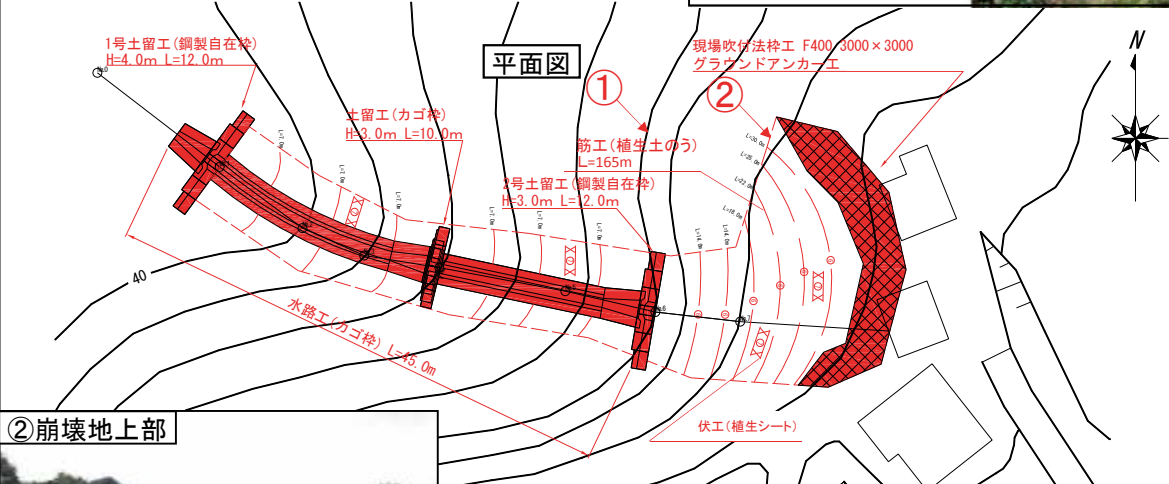


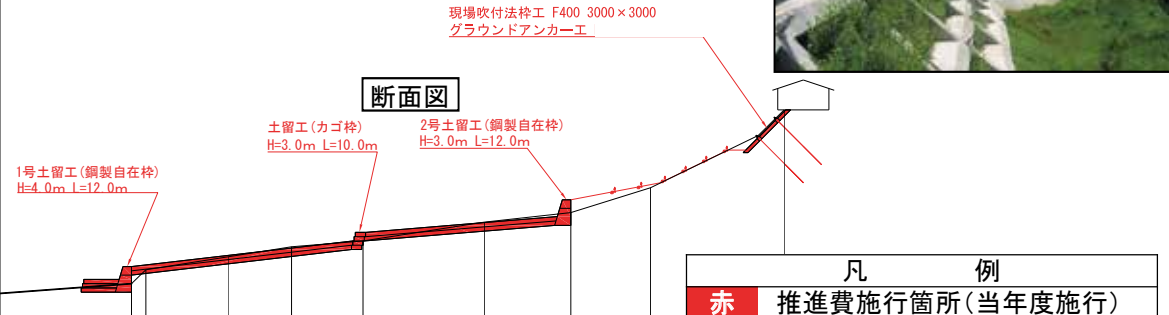


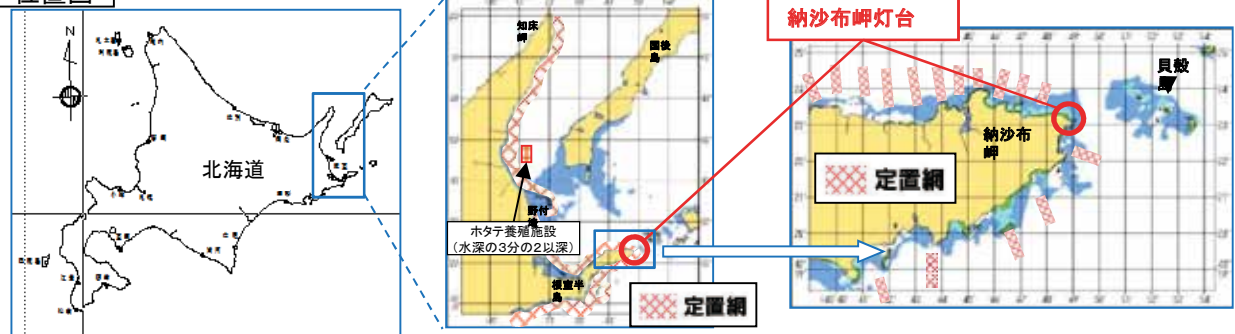
【25】 災害対策(林野庁 補助 豪雨 分類②)

| | | | |
|------|--|---|-----------|
| 事業名 | 治山事業(吉谷地区) <small>ヨシタニ</small> | | |
| 事業主体 | 鳥取県 | | |
| 施行地 | 鳥取県米子市吉谷 <small>ヨナゴシ ヨシタニ</small> | | |
| 事業費 | 41(百万円) | 国費 | 20.5(百万円) |
| 内容 | <p>平成23年9月の台風第12号の豪雨(291mm/24h、32mm/1h)により、保安林の斜面が崩落し、公共土木施設には被害はなかったが、半壊1戸の家屋被害が発生した。崩落斜面上部には別の家屋があり、ため池も隣接しているので、更なる被害の拡大を防ぐ必要がある。</p> <p>このため、推進費を活用して緊急的に法面对策を行うことで再度災害防止を図り、地域住民の安全・安心を確保する。</p> | | |
| |  <p>位置図</p> |  <p>①崩壊地全景</p> | |
| |  <p>平面図</p> <p>1号土留工(鋼製自在枠) H=4.0m L=12.0m</p> <p>土留工(カゴ枠) H=3.0m L=10.0m</p> <p>2号土留工(鋼製自在枠) H=3.0m L=12.0m</p> <p>現場吹付法枠工 F400 3000×3000 グラウンドアンカー工</p> <p>筋工(植生土のう) L=165m</p> <p>水路工(カゴ枠) L=15.0m</p> <p>伏工(植生シート)</p> | | |
| |  <p>②崩壊地上部</p> |  <p>施工完了</p> | |
| |  <p>断面図</p> <p>現場吹付法枠工 F400 3000×3000 グラウンドアンカー工</p> <p>1号土留工(鋼製自在枠) H=4.0m L=12.0m</p> <p>土留工(カゴ枠) H=3.0m L=10.0m</p> <p>2号土留工(鋼製自在枠) H=3.0m L=12.0m</p> | | |
| | <p>凡例</p> <p>赤 推進費施行箇所(当年度施行)</p> | | |

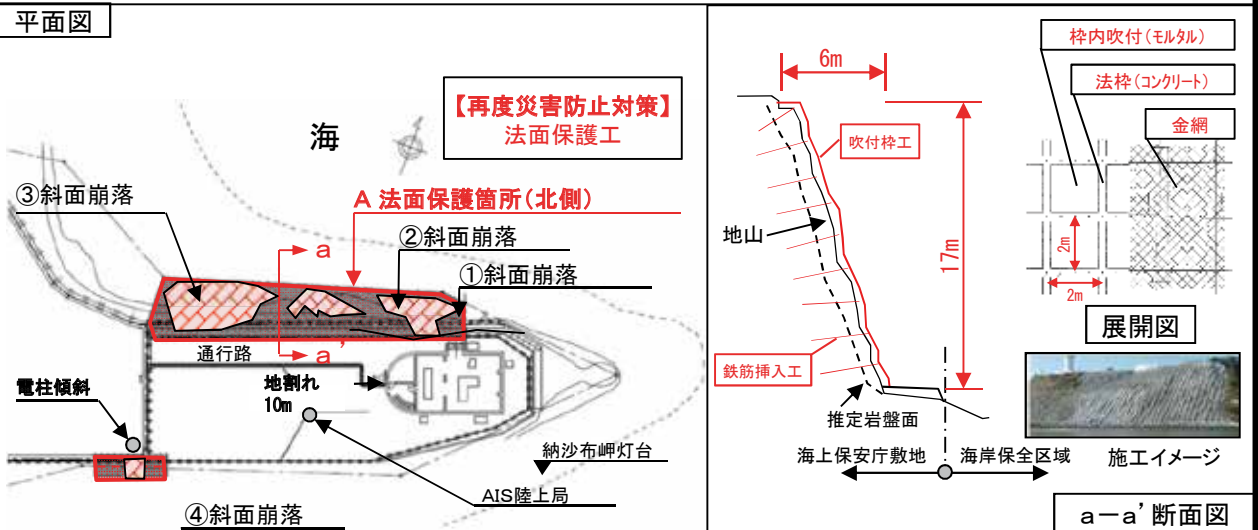
【26】 災害対策 (海上保安庁 直轄 豪雨 分類②)

| | | | |
|------|--|----|------------|
| 事業名 | ノサップ ミサキトウダイ 航路標識整備事業 (納沙布岬灯台) | | |
| 実施主体 | 海上保安庁 | | |
| 施行地 | ネムロ シ 北海道根室市地内 | | |
| 事業費 | 41.5 (百万円) | 国費 | 41.5 (百万円) |
| 内容 | <p>平成28年8月の台風第5、7、9、11号に伴う豪雨 (111mm/24h、43mm/1h) により、納沙布岬灯台の敷地斜面崩落が発生した。本灯台は北方領土に隣接しており、航行船舶や漁業者の安全確保が必要であるとともに、観光客が多数訪れる場所である。今後の降雨等による更なる法面崩壊で灯台本体と給電用電柱の倒壊の危険性が高い。</p> <p>このため、推進費を活用して緊急的に法面对策を行うことで再度災害防止を図り、灯台管理者及び漁業者、観光客の安全・安心を確保する。</p> | | |

位置図



平面図



凡例
赤 推進費施行箇所 (当年度施行)

【27】 災害対策 (国交省水管理・国土保全局 直轄 豪雨 分類②)

| | | | |
|------|---|----|------------|
| 事業名 | 特定緊急砂防事業(矢部川水系星野川) <small>ヤベ ガワ ホシノ ガワ</small> | | |
| 事業主体 | 国土交通省 | | |
| 施行地 | 福岡県八女市星野村柳原地区 <small>ヤメ シ ホシノ ムラ ヤナバル</small> | | |
| 事業費 | 685(百万円) | 国費 | 456.7(百万円) |
| 内容 | <p>平成25年7月3日から4日までの梅雨前線に伴う豪雨(123mm/24h、69mm/1h)により、直轄砂防災害関連緊急事業で地すべり対策工実施中の斜面上方において新たな地すべりが発生した。公共土木施設に被害はなかったが、更なる被害の拡大を防ぐ必要がある。</p> <p>このため、推進費を活用して緊急的に地すべり対策を行うことで再度災害防止を図り、地域住民等の安全・安心を確保する。</p> | | |



【28】 災害対策 (国交省道路局 補助 豪雨 分類④)

| | | | |
|------|---|----|----------|
| 事業名 | 道路更新防災等対策事業(主要地方道金山明宝線ほか) <small>カナヤマ メイホウ セン</small> | | |
| 事業主体 | 岐阜県 | | |
| 施行地 | 岐阜県下呂市金山町岩瀬地内ほか <small>ゲロ シ カナヤマチヨウ イワセ</small> | | |
| 事業費 | 450(百万円) | 国費 | 225(百万円) |
| 内容 | <p>平成28年2月14日の豪雨(92mm/24h)により、主要地方道金山明宝線で法面崩壊が発生し、全面通行止めを行った。被災箇所は災害復旧事業を実施している。</p> <p>被災を受けた地域と同一自治体及び同一道路管理者の路線において、緊急点検及び詳細調査を行った結果、被災箇所と同様に崩壊の危険性が高い法面が確認された。</p> <p>このため、推進費を活用し、緊急に法面对策を行うことで同一路線における再度災害防止を図り、地域住民等の安全・安心を確保する。</p> | | |

災害発生箇所

○同一自治体及び同一道路管理者ルート
○隣接する二地域を結ぶ道路区間
○通勤・通学ルート又は緊急輸送道路

凡例
● 推進費施行箇所
● 災害発生箇所

広域図

標準断面図

落石防護網 (ポケット式ロックネット)
吹付法枠 F300-2000×2000 鉄筋挿入
鉄筋挿入

ボーリング調査

水平ボーリング① コア写真 部分的に岩盤が土砂化
水平ボーリング② コア写真 部分的に岩盤が土砂化

外部学識経験者・防災ドクター調査

目視調査

モルタル剥離
土砂化

岩盤スケッチ

打音調査

○ボーリング調査、岩盤スケッチ、打音調査などの詳細調査を踏まえ、外部学識経験者または防災ドクターの所見により災害復旧実施箇所と定量的に同等と判断され、かつ今後の降雨や凍結融解により被災を受ける可能性ももっとも高く次年度以降の対応可能な場所との区別を具体的に説明すること。

施行箇所①

対策後【H30.3撮影】

施行箇所②

対策後【H30.3撮影】

施行箇所③

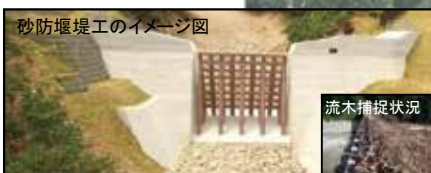
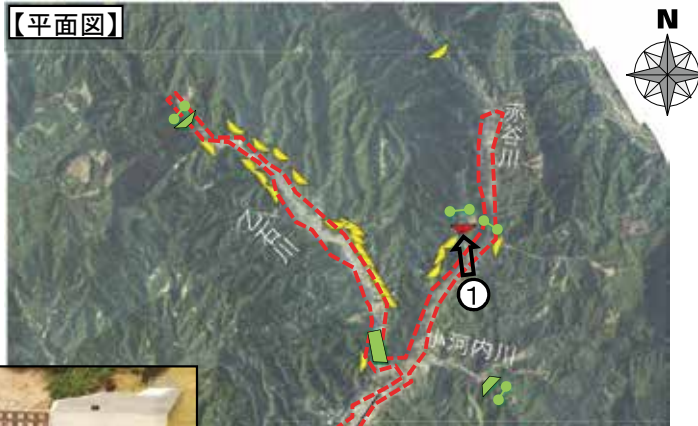
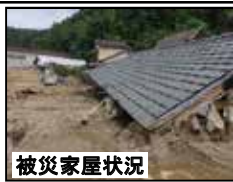
対策後【H30.3撮影】

【29】 災害対策(国交省水管理・国土保全局 直轄 豪雨(土石流) 分類⑤)

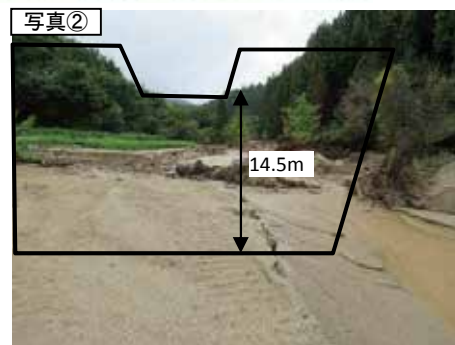
| | | | |
|------|--|----|-----------|
| 事業名 | 特定緊急砂防事業(筑後川水系赤谷川) <small>チクゴ ガワ アカタニ ガワ</small> | | |
| 事業主体 | 国土交通省 | | |
| 施行地 | 福岡県朝倉市杷木松末地先 <small>アサクラ シ ハキ マスエ</small> | | |
| 事業費 | 540 (百万円) | 国費 | 540 (百万円) |
| 内容 | 平成29年7月九州北部豪雨(829mm/24h、124mm/1h)により、筑後川水系赤谷川において多数の山腹崩壊が発生し、大量の土砂及び流木が流出した。これにより、全壊99戸、半壊37戸の家屋損壊などの甚大な被害が発生した。 このため、特定緊急砂防事業の初年度に推進費を活用して早急に砂防堰堤を整備し、地域住民の安全・安心を確保する。 | | |



| 凡 例 | |
|-----|----------------|
| 赤 | 推進費施行箇所(当年度施行) |
| 緑 | 災害関連緊急事業 |
| 黄 | 次年度以降の実施予定 |

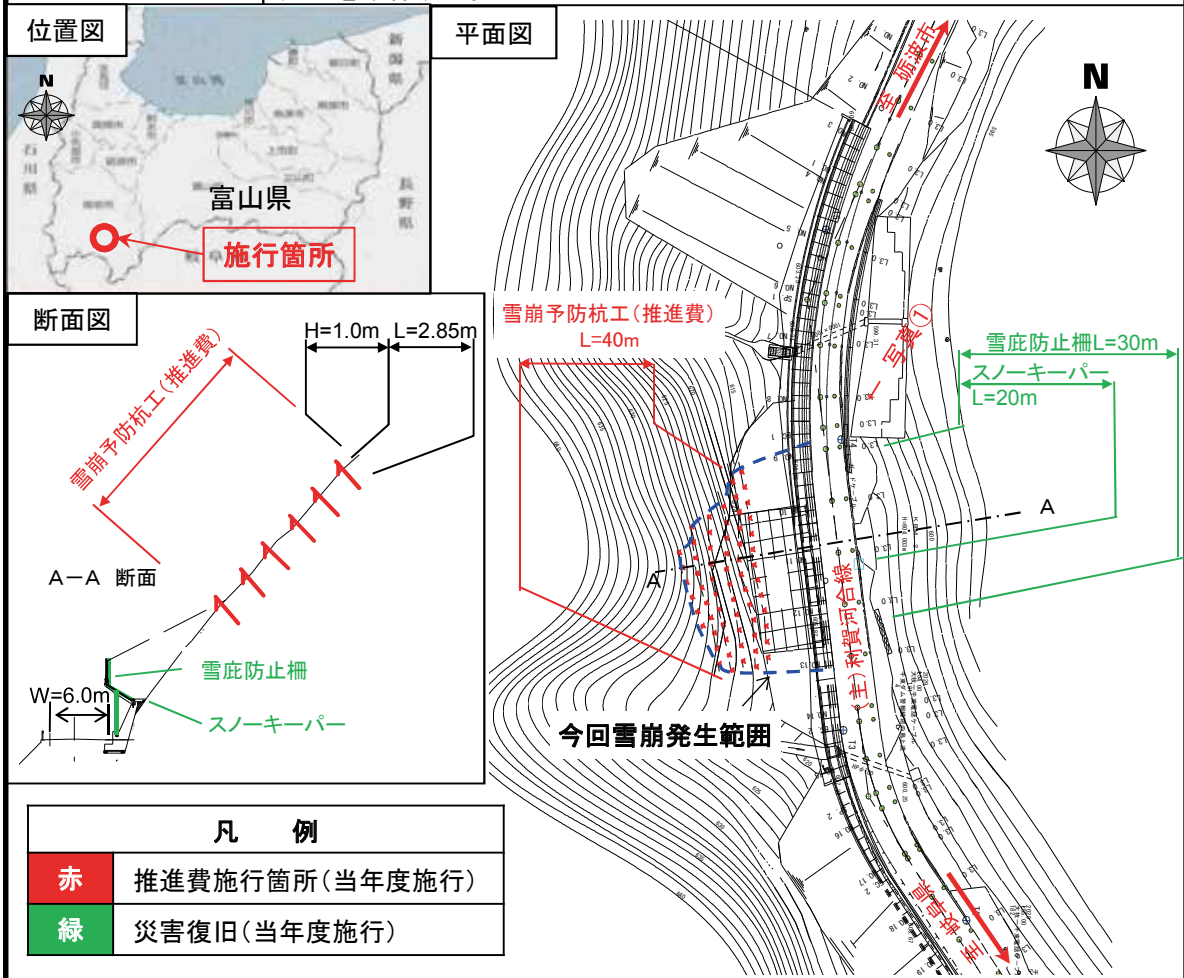


| 凡 例 | |
|-----|--------------|
| | 砂防堰堤 |
| | 強靱ワイヤーネット |
| | 遊砂地 |
| | 河道に大量に流出した土砂 |
| | 砂防堰堤直下にある集落 |



【30】 災害対策 (国交省道路局 補助 豪雪(雪崩) 分類①)

| | | | |
|------|--|----|-----------|
| 事業名 | 道路更新防災等対策事業(主要地方道 利賀河合線 ^{トガカワイセン}) | | |
| 事業主体 | 富山県 | | |
| 施行地 | 富山県南砺市利賀村大勘場地先 ^{ナントシトガムラダイカンバ} | | |
| 事業費 | 43(百万円) | 国費 | 21.5(百万円) |
| 内容 | <p>平成27年3月4日に主要地方道利賀河合線で発生した雪崩により、落雪防護工(スノーキーパー)等が損壊し、全面通行止めを行った。</p> <p>このため、災害復旧事業による原形復旧にあわせて推進費を活用し、緊急的に雪崩予防杭を設置することで再度災害防止を図り、地域住民等の安全・安心を確保する。</p> | | |



【31】 災害対策 (国交省水管理・国土保全局 直轄 暴風(高波) 分類①)

| | | | |
|------|---|----|------------|
| 事業名 | イブリカイガン 海岸保全施設整備事業(胆振海岸) | | |
| 事業主体 | 国土交通省 | | |
| 施行地 | シラオイゲン シラオイチョウ ハギノ キタヨシハラ トマコマイ シ アリアケチョウ 北海道白老郡白老町萩野・北吉原、苫小牧市有明町地先 | | |
| 事業費 | 3,990(百万円) | 国費 | 3,990(百万円) |
| 内容 | 平成28年8月の台風第10号の暴風(最大風速23.6m/秒)に伴う高波により、堤防護岸の基礎石が飛散し、家屋等一部損壊4戸、床下浸水3戸の被害が発生し、国道36号の通行止め、JR室蘭本線の運休を行った。 このため、災害復旧事業による原形復旧にあわせて推進費を活用し、緊急的に補強を行うことで再度災害防止を図り、地域住民等の安全・安心を確保する。 | | |

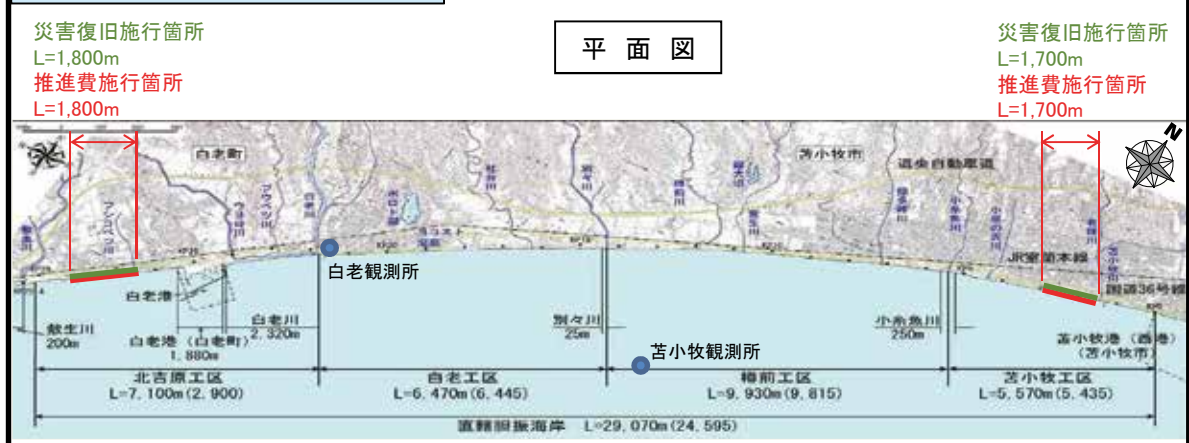
位置図

オホーツク海
日本海
太平洋
N
施行箇所

平常時・越波時の状況(苫小牧工区CCTV)

平常時の状況

越波時の状況



標準断面図

表法被覆ブロック再設置

基礎石再設置

被覆ブロック据付

凡例

| | |
|---|--------------------|
| 赤 | 推進費施行箇所 (当年度施行) |
| 緑 | 災害復旧事業 (当年度施行) |

越波による家屋等の被害状況
(苫小牧市有明町)

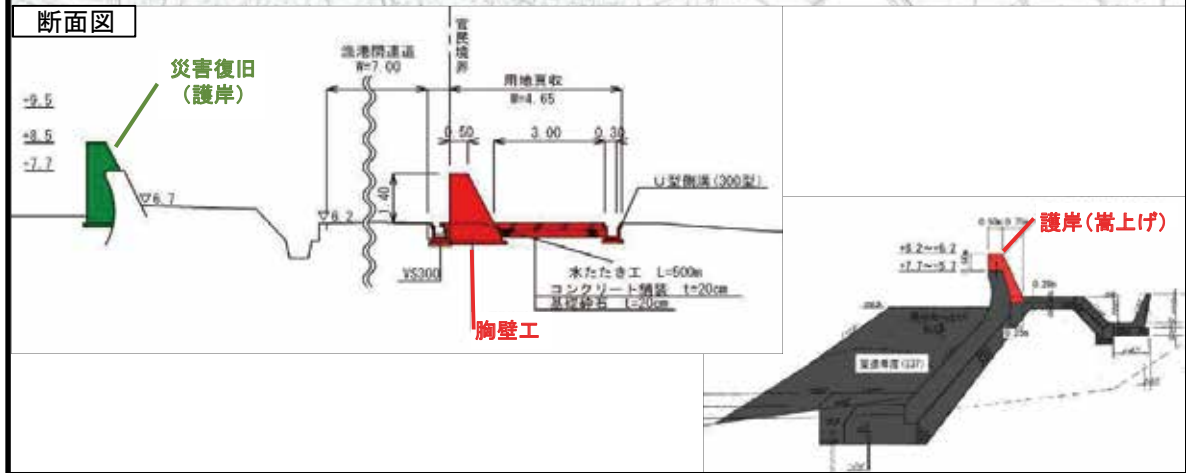
越波により法面に飛散した基礎石
(苫小牧市有明町)

越波により天端まで飛散した基礎石
(苫小牧市有明町)

対策完了状況

【32】 災害対策(水産庁 補助 暴風(高波) 分類①)

| | | | |
|------|--|----|------------|
| 事業名 | 海岸保全施設整備事業(入善漁港海岸) <small>ニュウセ`ンキ`ヨコウカイ`カン</small> | | |
| 事業主体 | 入善町 <small>ニュウセ`ンマチ</small> | | |
| 施行地 | 富山県下新川郡入善町芦崎 <small>シモノイカワ`ク`ン` ニュウセ`ンマチ`アシサキ</small> | | |
| 事業費 | 157(百万円) | 国費 | 104.7(百万円) |
| 内容 | 平成20年2月24日の暴風(最大風速15.5m/秒)に伴う高波により、入善漁港海岸で死者1名、負傷者15名、全半壊64棟、床下浸水128戸、床上浸水117戸の被害が発生した。 このため、災害復旧事業による原形復旧にあわせて推進費を活用し、緊急的に堤防護岸の嵩上げ等を行うことで再度災害防止を図り、地域住民等の安全・安心を確保する。 | | |

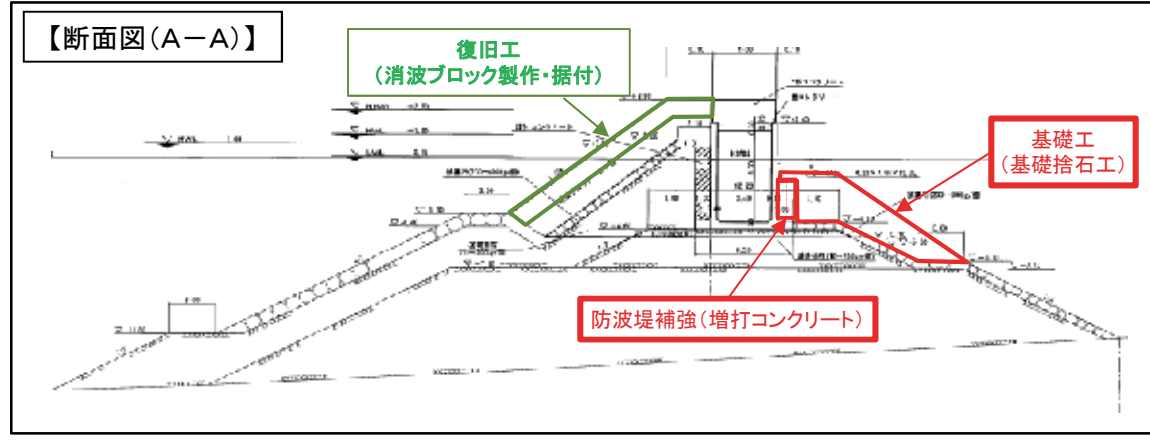
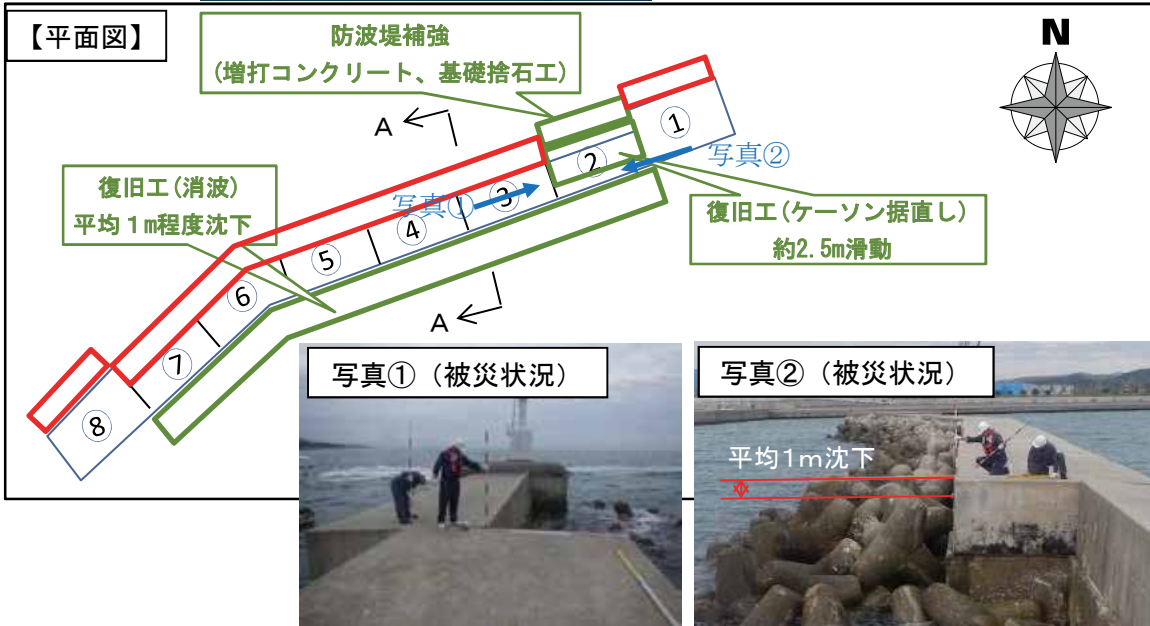


【33】 災害対策 (国交省港湾局 補助 暴風(高波) 分類①)

| | | | |
|------|--|----|---------|
| 事業名 | 港湾事業(津名港志筑地区) <small>ツ ナコウ シツキ</small> | | |
| 事業主体 | 兵庫県 | | |
| 施行地 | 兵庫県淡路市生穂新島 <small>アワジ シイク ホニイジマ</small> | | |
| 事業費 | 150(百万円) | 国費 | 60(百万円) |
| 内容 | <p>平成30年9月の台風第21号の暴風(最大風速21.7m/s)に伴う高波・高潮により、沖防波堤のケーソンが滑動し、さらに全体の消波ブロックが沈下したことから、背後地において、漁港物揚場の浸水などの被害が発生した。</p> <p>このため、災害復旧事業による原形復旧にあわせて推進費を活用し、緊急的に防波堤の補強を行うことで再度災害防止を図り、地域住民等の安全・安心を確保する。</p> | | |

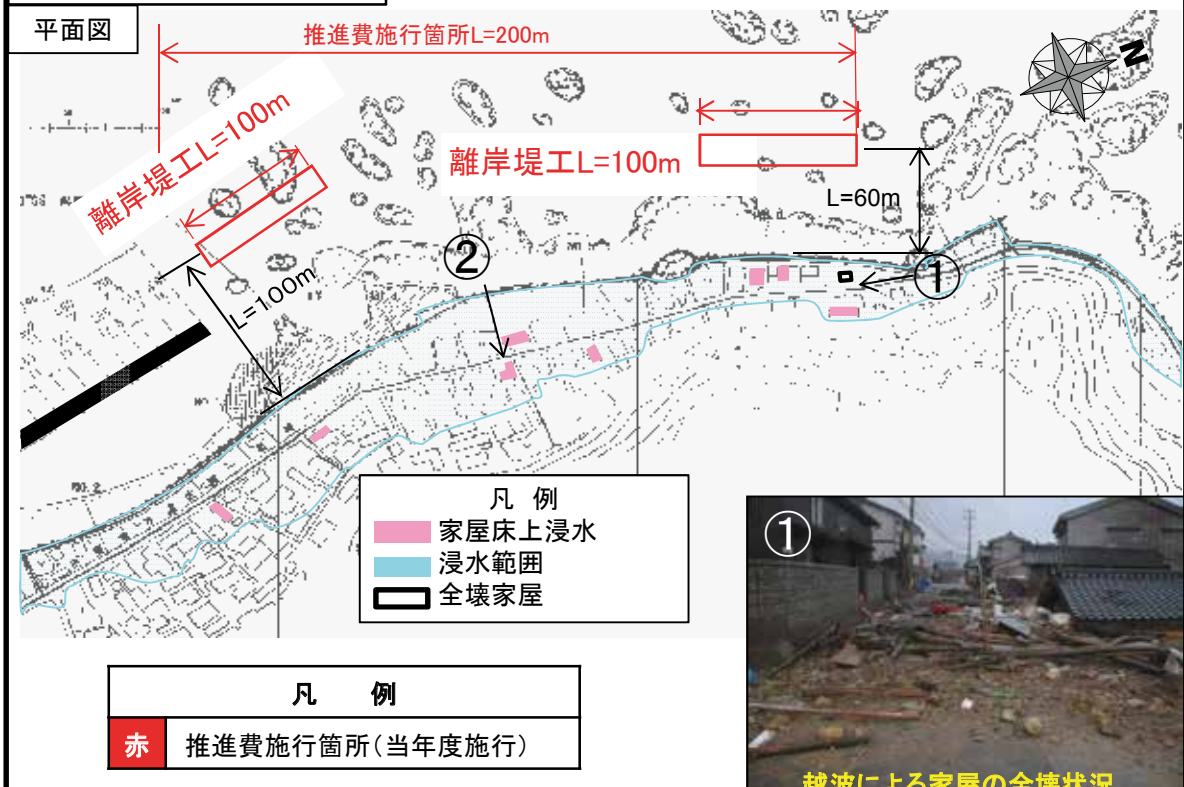
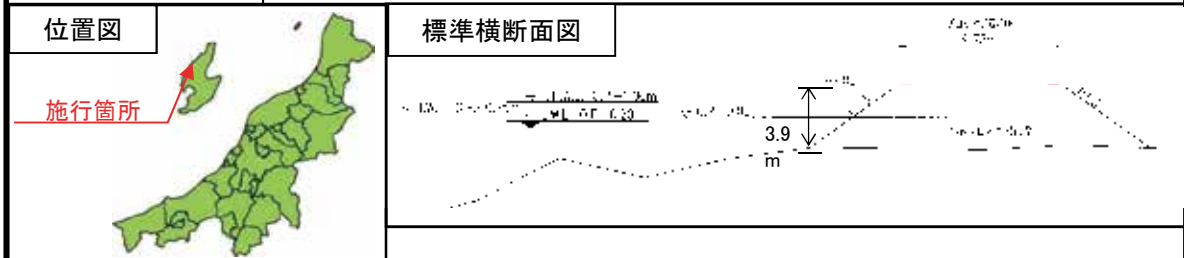


| 凡 例 | |
|-----|----------------|
| 赤 | 推進費施行箇所(当年度施行) |
| 緑 | 災害復旧事業(当年度施行) |



【34】 災害対策 (国交省水管理・国土保全局 補助 暴風(越波) 分類②)

| | | | |
|------|---|----|------------|
| 事業名 | 海岸保全施設整備事業(石花地区海岸) <small>イシゲ テク カイガン</small> | | |
| 事業主体 | 新潟県 | | |
| 施行地 | 新潟県佐渡市石花 <small>サド シ イシゲ</small> | | |
| 事業費 | 430(百万円) | 国費 | 236.5(百万円) |
| 内容 | 平成24年4月3日から4日までの暴風(最大風速24m/s)で越波し、公共土木施設には被害はなかったが、佐渡市石花地区で全壊1戸、床上浸水8戸、床下浸水10戸の家屋被害が発生した。 このため、推進費を活用して緊急に離岸堤を整備することで再度災害防止を図り、地域住民等の安全・安心を確保する。 | | |

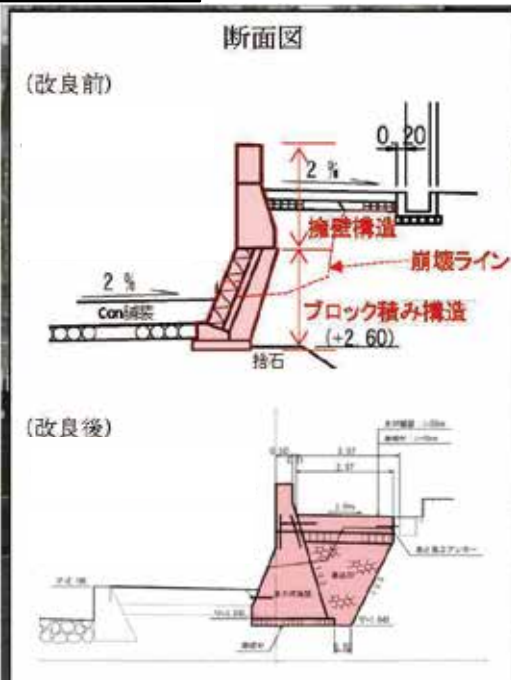


【35】 災害対策(国交省港湾局 補助 暴風(越波) 分類①)

| | | | |
|------|---|----|---------|
| 事業名 | アガサキ ニシミヤ アシヤ コウ カイガン コウ シ エン ハマ 海岸保全施設整備事業(尼崎西宮芦屋港海岸甲子園浜地区) | | |
| 事業主体 | 兵庫県 | | |
| 施行地 | ニシミヤ シ コウ シ エン ハマ 兵庫県西宮市甲子園浜 | | |
| 事業費 | 40(百万円) | 国費 | 20(百万円) |
| 内容 | 平成30年9月の台風第21号の暴風(最大風速26.2m/s)に伴う越波と高潮により、護岸が倒壊し、下水処理施設等において約38haの浸水被害が発生した。このため、災害復旧事業による原形復旧にあわせて推進費を活用し、緊急的に前後区間を同様の安定性の高い護岸構造形式で整備することで再度災害防止を図り、下水処理施設の安定的な水処理機能と周辺利用者の安全・安心を確保する。 | | |



| 凡例 | |
|----|--------------------|
| 赤 | 推進費施行箇所 (当年度施行) |
| 緑 | 災害復旧事業 (当年度施行) |
| 青 | 浸水範囲 |

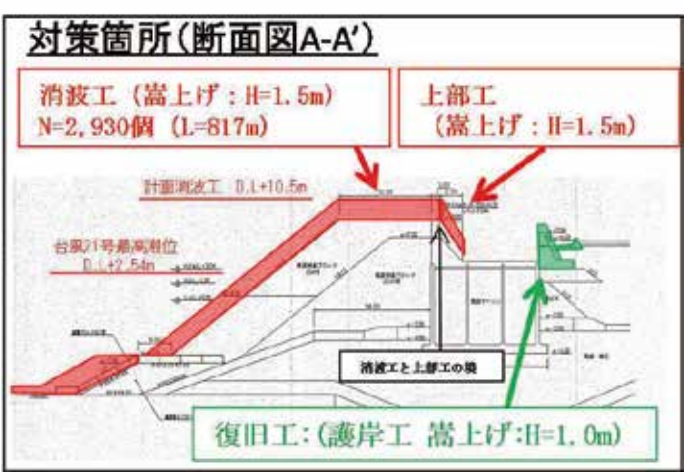
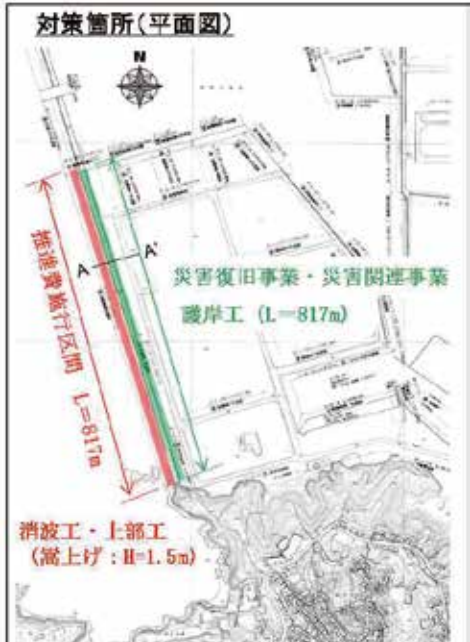


【36】 災害対策 (国交省港湾局 補助 暴風(越波) 分類①)

| | | | |
|------|---|----|----------|
| 事業名 | ワカヤマシモツコウサイカザキ 港湾事業(和歌山下津港 雑賀崎地区) | | |
| 事業主体 | 和歌山県 | | |
| 施行地 | ワカヤマシサイカザキ 和歌山県和歌山市雑賀崎 | | |
| 事業費 | 1,860(百万円) | 国費 | 930(百万円) |
| 内容 | 平成30年9月の台風第21号の暴風(最大風速37.6m/s)に伴う越波と高潮により、護岸が倒壊し、背後地の工業団地等で約22haの浸水被害が発生した。このため、災害復旧事業等での復旧・嵩上げにあわせて推進費を活用し、緊急的に消波工の嵩上げ等を行うことで再度災害防止を図り、工業団地を含めた背後地と周辺利用者の安全・安心を確保する。 | | |



| 凡例 | |
|----|----------------|
| 赤 | 推進費施行箇所(当年度施行) |
| 緑 | 災害復旧・関連(当年度施行) |

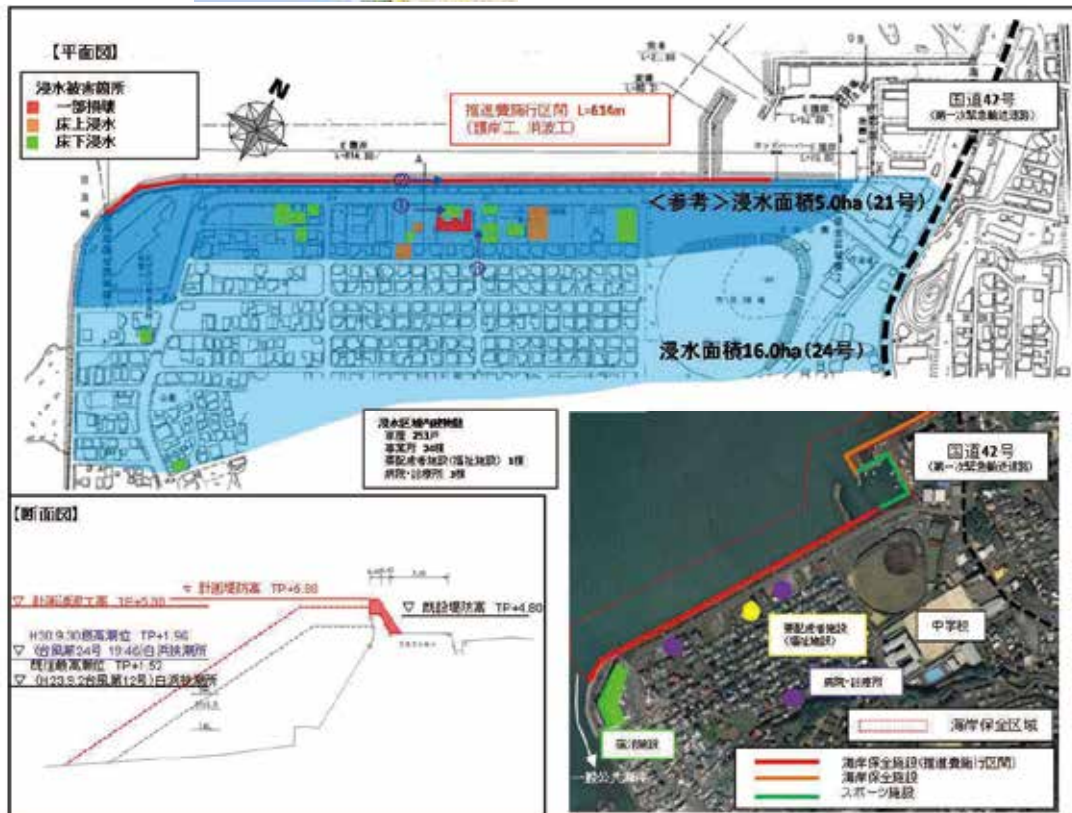


【37】 災害対策 (国交省水管理・国土保全局 補助 暴風(越波) 分類②)

| | | | |
|------|--|----|----------|
| 事業名 | 海岸保全施設整備事業(田辺海岸芳養・元町地区) <small>タ ナベ カイガン ハ ヤ モトマチ</small> | | |
| 事業主体 | 和歌山県 | | |
| 施行地 | 和歌山県田辺市目良地先 <small>タ ナベ シ メ ラ</small> | | |
| 事業費 | 382(百万円) | 国費 | 191(百万円) |
| 内容 | 平成30年9月の台風第21号・第24号の暴風(最大風速33.3m/s、27.9m/s)に伴う越波及び高潮により、浸水被害が発生し、特に台風第24号の際には、芳養・元町地区で家屋一部損壊1戸、床上浸水3戸、床下浸水13戸の家屋被害と16haの浸水被害が発生した。 このため、推進費を活用して緊急的に護岸の嵩上げ等を行うことで再度災害防止を図り、地域住民の安全・安心を確保する。 | | |



| 凡例 | |
|----|--------------------|
| 赤 | 推進費施行箇所 (当年度施行) |

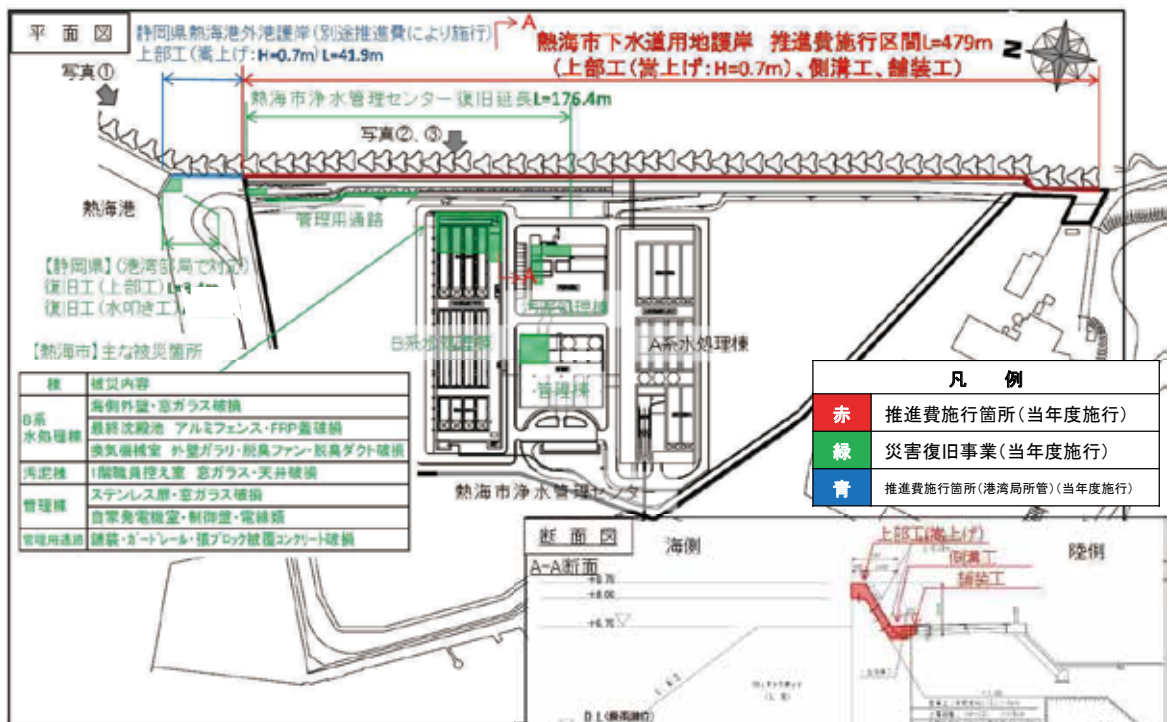
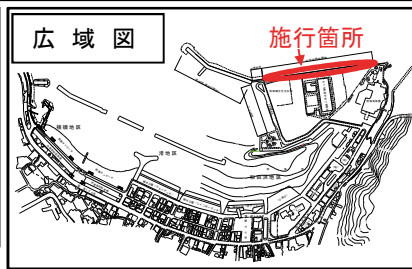
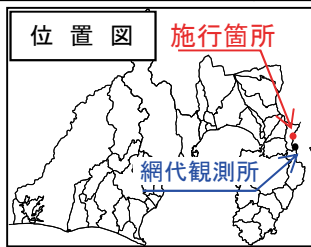


現状施設

H30台風第24号の越波により背後地が浸水

【38】 災害対策 (国交省水管理・国土保全局 補助 暴風(越波) 分類①)

| | | | |
|------|---|----|---------|
| 事業名 | アタミ ショウスイカンリ 下水道災害対策事業(熱海市浄水管理センター) | | |
| 事業主体 | 熱海市 ※港湾局所管港湾事業(補助)(実施主体:静岡県【事業費30(国費12)百万円】)同時配分 | | |
| 施行地 | アタミ シワダ ハマミナミチヨウ 静岡県熱海市和田浜南町地先 | | |
| 事業費 | 80(百万円) | 国費 | 40(百万円) |
| 内容 | 平成30年7月の台風第12号の暴風(最大風速20.8m/s)に伴う越波と高潮により、下水処理施設の破損などの被害が発生した。 このため、災害復旧事業による原形復旧にあわせて推進費を活用し、緊急的に護岸の嵩上げ等を行うことで再度災害防止を図り、下水処理施設の安定的な水処理機能と地域の安全・安心を確保する。 | | |



①被災状況(B系水処理棟)

写真②



②被災状況(B系水処理棟)

写真③



【39】 災害対策 (国交省水管理・国土保全局 補助 高潮 分類②)

| | | | |
|------|---|----|------------|
| 事業名 | ミヤガワ ミヤガワ 河川改修事業(宮川水系宮川) | | |
| 事業主体 | 兵庫県 | | |
| 施行地 | アシヤ シ ニシクラチヨウ クレカワチヨウ 兵庫県芦屋市西蔵町・呉川町地先 | | |
| 事業費 | 60.4 (百万円) | 国費 | 30.2 (百万円) |
| 内容 | 平成30年9月の台風第21号に伴う高潮で宮川が溢水し、公共土木施設には被害はなかったが、床下51戸を含む約10haの浸水被害が発生した。 このため、推進費を活用して緊急的に築堤を行うことで再度災害防止を図り、地域住民の安全・安心を確保する。 | | |



| 凡 例 | |
|-----|----------------|
| 赤 | 推進費施行箇所(当年度施行) |
| 黒 | 施行完了箇所 |

